

水土里レポート 投稿様式

投稿月日	平成28年10月27日
タイトル	いっぱい刈ったよ！初めての稲刈り！
水土里レポーター名	水土里ネット福山 佐々田 愛

平成28年10月13日（木）福山市松永町の学校法人杉原学園 松永幼稚園年長組103名が、福山市東村町にある水土里ネット福山の組合員のかいはきのり廻野明倫さんのほ場約17aで稲刈りの農業体験をしました。

子ども達は、5月に籾蒔き、6月に田植えをし、それから約5か月稲の成長を見学を訪れたりして稲刈りを楽しみにしていたそうです。



子ども達は3組に分かれ、順番に保護者の方と一緒に田んぼへ入ります。事前に鎌の使い方を聞いていて最初は保護者の方が手を添えて刈っていましたが、すぐに慣れて一人で稲を掴んでカマで刈れるようになりました。

次の組へ交代する時は「もっと稲刈りしたいな！」ともっともっと稲刈りしたいようでした。



保護者の方も一緒に稲刈り体験をされました。

お父さん、お母さん世代は、稲刈りが初めての方が多く、子どもと一緒に稲刈り初体験。おじいちゃん、おばあちゃん世代は、子どもの頃稲刈りをしたことがある方が多く、子どもの頃を思い出して、子ども達に上手に教えておられました。どの世代にも心に残る思い出になったようです。

今回の稲刈りは、はざ掛けをしないでコンバインの脱穀機能を使って一気に籾にまでにするため子ども達が手で刈った稲を運んでコンバインへ入れて脱穀しなければいけません。

幼稚園の先生や保護者も手伝って刈った稲を全部脱穀しました。最後に落穂拾いをして、一粒のお米も無駄にしないようにがんばりました。



みんなで2時間かけて稲刈り、脱穀をしましたが、残った稲はコンバインであつと言う間に刈って脱穀してしまい、大人も子どももびっくりして見ていました。手で刈る大変さと比べて、技術の進歩がよく分かりました。



最後に子ども達全員が大きな声で廻野さんに「ありがとうございました。」とお礼を言いました。廻野さんから「5月にみんなが蒔いた3粒の籾がこんなに大きくなって沢山のお米がなりました。大きく成長したのは、みんなも同じです。これからも元気にすくすく育ってください。」と言われました。

11月には、収穫した米を使って「おにぎりパーティー」をするそうで、今から待ち遠しいようでした。おにぎりをほおぼる子ども達も取材してまいります。